

# 早川たかし執筆・新本 第2回公開編集会議 & 富山県の子ども Wellbeing 向上運動つくりの方向

## ■はじめに 先ず"遊"からはじめよ！

新本の構想を立て始めてから、かれこれ6年が経ちます。「子育て支援と心理臨床」(2018年 福村出版 連載4)が終了した頃から、NPO創設からの活動のまとめを上梓したいと考えはじめました。妻・恵子の難病の悪化、そして、天国への旅立ち、さらに、コロナ渦と、6年の歳月が流れました。そして、ついに、やっと、昨年6月から集中的に執筆を開始し、新本の体を為した「原稿」できました。

さて、私はこの間、”助手”と呼ぶ若者たち(大学生H君、保育士を辞めたS君、塾教師D君、)を雇用し、私の傍で仕事を手伝ってもらいました。その助手たちが、いなければ、私は大袈裟ですが、生き延びることはできませんでした。昨年5月から助手を務めたのが山下敦子さんでした。彼女との「対話」を経て、「原稿」ができてきました。この「対話」こそが、やがて出版されるだろう新本の真骨頂だろうと考えています。

この間、作家ではない私が一冊の本を書いて仕上げるのが、こんなにしんどく苦しいことだと改めて感じました。途中で投げ出たくもなりました。しかし、彼女と「対話」が私を支えました。さらに、完成間近になって、身近な仲間たちとの「対話」で、新本出版の「意味」や「価値」を問いたくなりました。そして、2月21日に10人の仲間と「編集会議」を行いました。中国故事・”先ず” 隗”からはじめよ！”に発想して、著名を考えています。(未定)出版元が未だ決まらず、紆余曲折の現状ですが、各界各氏からの大きな期待が高まっています。

## 企画内容

■期日 2024年3月31日(日) 10:00~16:30 受付9:30

■会場 富山駅前CICビル5F 星槎国際高校・とやま学習センター ゼミ室2

## ■内容

1部 新本「遊びはヒトの希望です」へのメッセージ

- 10:00 ~ 水関 清先生 (函館渡辺病院)  
テーマ: 言葉とこころの不思議  
~総合診療医の日常と、啄木の『一握の砂』収載歌から考える~
- 10:50 ~ 神谷明宏先生 (子ども環境学会副会長)  
テーマ:
- 11:40 ~ 渡辺久子先生 (日本乳幼児精神保健学会会長)  
テーマ:
- 12:30 昼食 休憩

13:30~2部 公開編集会議? 参加者がひとり1人が編集者  
司会: 富樫 豊 (こども環境学会)  
パネラー: 渡辺久子 神谷明宏 水関清 大西宏治 (富山大学教授) 各氏 &  
山下敦子 (子ども遊ばせ隊) 宮下基幸 (福村出版 社長)  
飯田良智 (星槎高校) 棚瀬静香  
南 直樹 ( )  
文書発表: 西野博之 仙田満氏 西田篤氏 金田利子氏 汐見稔幸氏  
15:30 ~ 富山・子どもNPOセンター発足?? ~  
司会: 山下敦子  
意見者: 参加者全員

- 参加 無料 ただし寄付・カンパははいくらでも  
■主催: 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊  
■資料: